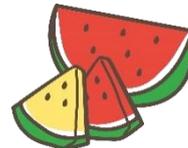


7月20日（土）から8月31日（土）まで

夏休み期間は毎日開館します。

春日井市図書館は夏休みのあいだ、月曜日も開館します。

ぜひご利用ください。



※グループふじとう図書館、各公民館・ふれあいセンター・グリーンパレス春日井図書室は通常どおりの休館日です。各館・各室の開館状況は開館カレンダー等をご覧ください。

3階展示コーナー 企画展示「夏休みの課題に役立つ本特集」

7月20日（土）～8月31日（土）

自由研究に役立つ本や、過去の課題図書など展示します。

課題図書の利用について

6月から8月にかけて「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書の利用が急増します。多くの方に利用していただくため、6月1日（土）から8月31日（土）まで、小中学校の部の課題図書の貸出期間等を変更します。ご理解、ご協力をお願いいたします。

※高等学校の部の課題図書は、一般図書として取扱いします。

- ① 課題図書の貸出は1枚の利用者カードにつき1冊です。
- ② 貸出期間は8日間です。延長はできません。
- ③ 課題図書の予約は1枚の利用者カードにつき1冊です。なお、課題図書を借りている間でも、他の課題図書の予約が1冊まで可能です。予約は窓口のみで受付します。

春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

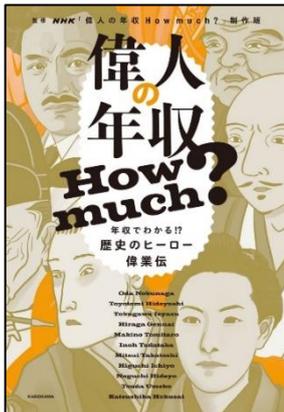
〒486-0844 愛知県春日井市烏居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）

おすすめ本紹介

偉人

テレビドラマや映画の主役になることもある偉人たち。名前は知っていてもどんな人なのか知らない人や、知名度は低くてもスゴイことをやってのけた人もいます。今回はさまざまな角度から見た偉人を紹介している本をオススメします。



『偉人の年収 How much?』

NHK「偉人の年収How much?」制作班/監修

KADOKAWA 281/イ/23 (知多)

この本は、放送中の教養バラエティ番組を書籍化したものです。登場する偉人たちは、日本を変える大きな業績を残した人たちですが、成し遂げた業績の大きさに対して年収が本当に見合っているのか、みなさんは気になりませんか？現行の紙幣の肖像となっている野口英世や樋口一葉、7月から発行される新紙幣の津田梅子も登場します。お金を切り口に偉人がどんな人生を歩んだのか、楽しく学べる本です。

『モブなのにすごいことしちゃった！日本史の偉人たち』

大澤 研一/監修 伊野 孝行/イラスト 笠井 木々路/編・文

朝日新聞出版 281/モ/21 (グリーンパレス)

教科書などで大きく扱われていない、飛鳥時代から昭和までの個性溢れる70人にスポットをあてています。実際、目次を見ると、知らない名前を多く見かけるのではないのでしょうか。たとえば、飛鳥時代に作られ、現在まで技術が継承されている世界最古の会社を作った金剛重光などがいます。その会社の創業はなんと西暦578年！日本の歴史の裏にはこんな人たちがいたんだ！と楽しく読めます。



『偉人しくじり図鑑』

河合 敦/著 秀和システム 281/イ/21 (知多)

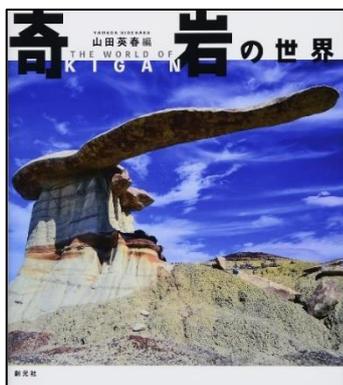
ちょっとした勘違いや判断を誤るのは誰でもありますよね。でも、歴史に名前を残した人の場合は、その「ちょっとした勘違いや判断ミス」が自分の人生だけでなく、その後の歴史に大きな影響を与えてしまっています。もはや「ちょっとした」レベルではありません。この「しくじった」人の中には、ちょっとしたイタズラのつもりが自分を死に追いやり、それがきっかけで国が60年も混乱する事態を引き起こした人もいます。昔も現代でも、相手がある時は慎重に振舞った方が良さそうですね……



おすすめ本紹介

石の世界

身近なようで意外と知らない「石」。小さな石ころから、巨大な岩石まで、その大きさや種類は多種多様です。今回は様々な角度から、石の世界に迫っていきます。



『奇岩の世界』

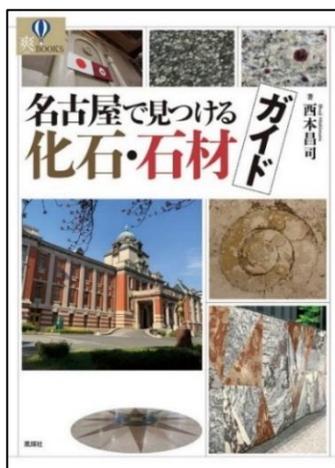
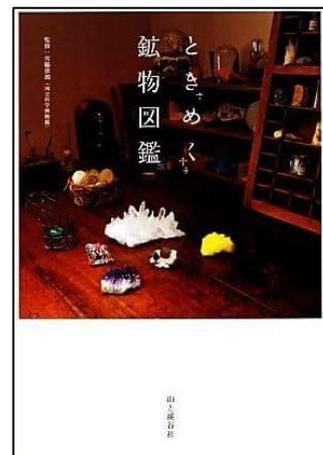
山田 英春/編 創元社 458/キ/17

世界各地の珍しい形の岩を紹介した写真集です。風や水などの自然の力によって削られた巨大な岩たちは、まさに圧巻。その形も様々で、キノコのようなものや、穴があいたもの、橋のようなアーチの形のもの、絶妙なバランスで立っているものと、盛りだくさん。自然にできた岩だけでなく、岩を利用した家や墓なども掲載されています。ページをめくるたびに広がる壮大な景色を、ぜひ味わってみてください。

『ときめく鉱物図鑑』

宮脇 律郎/監修 山と溪谷社/編 山と溪谷社 459/ト/11

水晶、孔雀石、ラピスラズリ……美しい鉱物たちが登場する、眺めるだけでも楽しい本です。鉱物の解説のほかに、石に関する伝説や、売っている店、保管方法、鉱物がモチーフの雑貨や、アレンジ作品の作り方など、幅広い内容が楽しめます。鉱物に興味を持ったばかりの初心者にもおすすめの本書です。心ときめく鉱物の世界に踏み出してみたいかたがでしょうか？



『名古屋で見つける化石・石材ガイド』

西本 昌司/著 風媒社 A520/ナ/22

名古屋のビルや地下街、名古屋城、明治村などに使用されている石材について知ることができる本です。写真が豊富に使われているので、アンモナイトやサンゴなどの化石がある壁や、ガーネットが含まれた床を見て楽しむことができます。地図も掲載されているので、本に出てくる建物に実際に行って、本物を見ることもできます。見慣れた町の姿の印象をガラリと変えてくれる興味深い一冊です。

おすすめ本紹介

海

日本は島国なので、色々な表情の海を見る事が出来ます。荒波が激しい日本海の海。エメラルドブルーに輝く南の海。あなたは、どんな海が好きですか？



『海に見える理髪店』

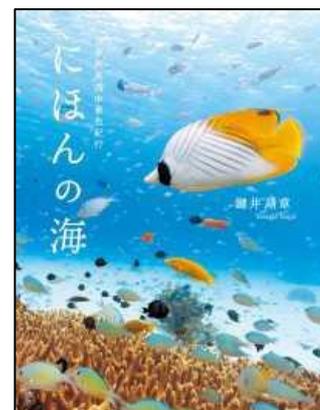
荻原 浩/著 集英社 F/オキ/19

海辺の小さな町にある理髪店。髪を切る僕の目の前には海が広がっている。どうして、店主はその位置に鏡を置いたのか？店主の一人語りが進むたびに、不穏な気配がしてきます。そしてのどにカミソリが当てられている時に、思いもよらない告白が…店主の告白とは？この理髪店に来た僕の目的とは？読み終えた時に、あなたが思い浮かべる海はどこなのでしょう。

『にほんの海』

鍵井 靖章/著 山と溪谷社 748/二/22

八重山列島から北海道の知床まで、日本全国の海の写真が楽しめます。日本は南北に長いので、地域によって特色がありますね。流氷を見ると涼しく感じ、クリオネを見ると癒されます。南国特有のカラフルな魚やサンゴ礁を見ると、海に潜っている気分になれます。クラゲになって海を泳げると素敵ですね。きれいな海を見て、地球温暖化や海洋汚染について自分に何ができるか考えてみませんか。



『海大図鑑』

倉本 圭、藤倉 克則/監修 ニュートンプレス 452/ウ/22

イラストや写真が盛りだくさんで読みやすい本です。海そのものから、生き物、台風などの気候まで解説してあります。私の発見は、「磯のかおりは海の生物がつくる」ということ。海は、独特な匂いがしますよね。日本の海は生物の宝庫。多くの生物から匂いの物質が生じているから匂いが強いんです。ハワイの海と比べてください。あなたもこの本を読んで、新しい発見を楽しんでください。

